

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	132	180	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	1	0	ヘルパンギーナ	45	25
咽頭結膜熱	22	36	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	14	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	103	120	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	404	423	流行性角結膜炎(はやり目)	13	10
水痘	136	114	細菌性髄膜炎	0	1
手足口病	130	119	無菌性髄膜炎	0	1
伝染性紅斑(りんご病)	1	3	マイコプラズマ肺炎	1	3
突発性発しん	60	57	クラミジア肺炎	1	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 水痘
- インフルエンザ

- 感染性胃腸炎は、報告数 404 件(前週報告数 423 件)と減少した。地区別では、菊池、山鹿、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 58 件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 136 件(前週報告数 114 件)と増加。地区別では、菊池、水俣、熊本に多く報告がみられます。年齢別では 2歳の 32 件を最多に主に 8歳以下からの報告です。
- インフルエンザは、報告数 132 件(前週報告数 180 件)と減少。地区別では、人吉、八代、天草に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の39件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
熊本市保健所	46		5	33	114	46	54		19		9	2		11					1
山鹿保健所	4				28	3	3		4					*	*				
菊池保健所	13	1	6	35	78	37	39		13		9	1		1					
阿蘇保健所				4	6	1								*	*				
御船保健所	3			1	5	4								*	*				
八代保健所	16		2	7	30	10	1		4		5	1							
水俣保健所					9	9	4		4					*	*				
人吉保健所	15			1	25	4	4	1	8		3			*	*				
有明保健所	17		5	7	65	11	5		2		1	4							
宇城保健所	3		3	10	35	5	16		1		6	3	*	*					
天草保健所	15		1	5	9	6	4		5		12	3		1				1	
計	132	1	22	103	404	136	130	1	60	0	45	14	0	13	0	0	1	1	

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5 ヵ月	6～11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	132				1	3	5	10	3	4	15	12	39	20	2	5	8	3	2		
小児科定点年齢	合計	0～5 ヵ月	6～11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	1			1																	
咽頭結膜熱	22		2	7	4	3	2	1		2	1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	103		1	7	11	15	19	10	11	10	3	9	2	5							
感染性胃腸炎	404	3	39	58	40	46	35	29	23	19	20	12	39	3	38						
水痘	136	6	9	24	32	21	20	8	11	2	1			2							
手足口病	130	1	24	57	29	9	1	7	1		1										
伝染性紅斑	1				1																
突発性発しん	60	3	29	27	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	45		11	10	13	6	4	1													
流行性耳下腺炎	14		1	1	1	2	2	3	2	1	1										
眼科定点年齢区分	合計	0～5 ヵ月	6～11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	13			1								1		1	4	2	2				2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	1													1							
クラミジア肺炎	1		1																		

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 水痘 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 菊池
- 手足口病 : 菊池

【水痘に注意しましょう。】

水痘に
注意しましょう!

水痘(すいとう)は「みずぼうそう」とも呼ばれ、「水痘帯状疱疹(すいとうたいじょうほうしん)ウイルス」によって起こる感染症です。今年に入り、増減をくりかえしていましたが、5月以降、徐々に増加しています。発生には季節性があり、例年、12～7月に多くなるため、もうしばらく注意が必要です。

感染力が非常に強く、保育所などの集団生活の場では、容易に感染し、水をもった赤い発疹が、口の中や頭皮、更には陰部まで、全身に出現します。発疹は通常2～3日でピークとなり、その後乾いて黒いかさぶたになります。すべての発疹がかさぶたになると、人にうつすことはなくなります。発疹はかゆみを伴いますので、ひっかいてかさぶたをこすようなことは短くしておきましょう。

水痘の予防方法としては、ワクチン接種があり、接種により約90%が抗体を獲得できると報告されており、効果が高いと言われています。ワクチン接種後に水痘にかかることもありますが、症状が軽く済むことが多いです。このワクチン接種は任意の接種となっておりますので、かかりつけの医療機関へご相談ください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課